



外部講師と連携した がん教育

令和4年(2022年)6月
北海道教育委員会

【はじめに】




がん教育は、がんについての正しい理解と、患者や家族などのがんと向き合う人々への共感的な理解を深めることを通して、子どもたちが自他の健康と命の大切さについて学び、ともに生きようとする資質や能力の育成を目指す教育であり、近年ますます重要となってきております。

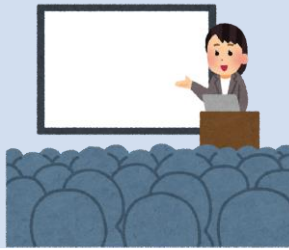

各学校においてがん教育を実践するに当たっては、がんに関わる多様な人材が参画し、それぞれの専門性や経験を十分に活用しながら指導を行うことが重要であり、地域や学校の実情に応じて、学校医や科学的な知見を有する専門医等の外部講師の協力を得たり、がん経験者等の協力を得たりすることが大切です。

本資料では、がん教育の企画から評価・まとめに至る一連の手順やその留意事項、外部講師との連携に関わる実践例等を掲載していますので、各学校において積極的に御活用され、がん教育を効果的に実践いただくよう願います。



1 実施上の手順（例）

	学校内	関係者との調整
企画	<p>保健主事、授業を担当する保健体育教諭、学級担任等を中心に核となる教員を決め、関係教職員と連携しつつ、外部講師を活用したがん教育を企画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなテーマで ・いつ ・だれを講師に <p>「がん教育外部講師リスト」 (北海道教育委員会) </p> <p>「がん教育外部講師リストの活用方法について」  p.6</p>	<p>外部講師と連携したがん教育の企画に合わせて、関係機関に講師の派遣を依頼する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前打診 ・正式依頼状送付 ・打合せ日程調整 <p>* 謝金や交通費についても、事前に確認しましょう。</p>
打合せ	<p>外部講師と連携したがん教育の実施に向けて、教職員の共通理解を図り、実施内容等について話し合う。</p> <p>また、教科書やがん教育に関するビデオ、パンフレットなどの資料を準備し、外部講師と連携したがん教育の講師予定者との打合せに備える。</p> <p>* 事前事後の学習内容がわかる資料などを用意しましょう。</p>	<p>外部講師を活用したがん教育の講師予定者と当日の指導内容や指導方法について打合せを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳細な日程 ・講師と学校の役割分担 ・準備品等 ・指導上の留意事項の確認 <p>* 配慮が必要な事項（p.3）について、具体的な配慮の方法など情報を共有しましょう。</p>
準備・事前指導	<p>当日児童生徒に配布する資料や使用する視聴覚機材を準備する。必要な場合には事前学習・事前指導等を行う。</p> <p>* オンラインを活用する場合には、実際の会場で、実際に使用する機材での接続テストを行いましょう。</p>	<p>資料や視聴覚機材についての最終確認を行う。</p> <p>講師と教員との役割分担についても確認する。</p> 

	学校内	関係者との調整
外部講師と連携したがん教育	<p>本時におけるがん教育の目的・ねらいの説明、講師の紹介等を行う。</p> <p>外部講師と連携したがん教育を実施する。</p>	<p>講師との最終確認を行い、がん教育を実施する。</p> 
実施後の指導	<p>学校の実情に応じて、各教科等の学習内容と関連付けた指導を行う。</p> <p>児童生徒と外部講師との質疑応答の機会を設けるとともに、振り返りの時間を確保する。</p>	<p>外部講師に授業実施後の感想などを尋ねるとともに児童生徒からの質問や感想などを提供し、指導上の課題や児童生徒の実施後の指導などについて話し合う。</p>
評価・まとめ	<p>成果や課題について担当者で話し合い、次年度の外部講師と連携したがん教育に生かす。</p> <p>また、この結果は全ての教職員で共有する。</p> 	<p>講師及び講師の所属先に礼状を出す。</p>

◆配慮が必要な事項◆

- ・小児がんの当事者、小児がんにかかったことのある児童生徒がいる場合
- ・家族にがん患者がいる児童生徒や家族をがんで亡くした児童生徒がいる場合
- ・生活習慣が主な原因とならないがんもあり、特に、これらのがん患者が身近にいる場合
- ・がんに限らず、重病・難病等にかかったことのある児童生徒や、家族に該当患者がいたり、家族を亡くしたりした児童生徒がいる場合

具体的な配慮の方法については、児童生徒の状況を最もよく把握している教職員（学校）が、学校全体の共通理解のもと、個別の状況に応じて検討を行います。その際、外部講師にも必要な情報を共有し、連携を図ることが大切です。

2 外部講師と連携したがん教育実践例

がん専門医による講演会

小学校

テーマ「がんのことをもっと知ろう」

対象学年 : 第6学年 教科等 : 特別活動(学級活動)

講師 : がん専門医

◆成果◆

- ・講師は、がんの原因や予防方法などについて、スライドを提示しながら分かりやすく説明するとともに、クイズなどを交えながら進められたことから、児童は楽しみながら参加し、「がん」についての基礎的な内容を理解することができた。



がん経験者による講話

小学校

テーマ「夢に向かって生きる」

対象学年 : 第6学年 教科等 : 総合的な学習の時間

講師 : 車椅子バスケットボール選手(大学生)

会場 : 体育館

◆成果◆

- ・講話を通して、児童はがん患者への関わり方や、困難なことがあっても夢に向かって生きることの大切さを実感するとともに、自分の生き方を見つめ直したり、これからの生き方を考えたりすることができた。



大学教授による研修会

小学校・中学校
合同

テーマ「がん教育の現状と課題」

対象者 : 同一校区の小学校及び中学校の教職員

講師 : 大学教授

会場 : 体育館

◆成果◆

- ・教職員はがん教育の背景や北海道の動向を知るとともに、学習指導要領との関連から、生涯にわたって自分や周りの人の健康や命の大切さについて考える必要があることを再認識した。
- ・隣接する学校で合同実施することにより、取組の共通理解を図ることができた。



がん専門看護師による講話

中学校

テーマ「がんの予防につながる 望ましい生活習慣、食習慣について考える」

対象者 : 全校生徒・教職員・保護者 教科等 : 特別活動（学級活動）
講師 : がん専門看護師

◆ 成果 ◆

- ・事前に、保護者に対してがん教育について説明をした上で、全校生徒及び教職員の他、保護者も対象とした講話を実施し、がんの予防につながる生活習慣等について考え、共有することができた。



学校医による講話

高等学校

テーマ「がんの現状」

対象者 : 第1・2学年生徒 教科等 : 科目「保健」
講師 : 学校医

◆ 成果 ◆

- ・日頃学校医として関わりがあり、がんと深く関わっている医師の説明により、町のがん検診率の現状などががん対策の取組や、がんについての正しい知識と命の大切さについて理解を深めることができた。



がん専門医による講話

高等学校

テーマ「がんの現状と課題」

対象者 : 医療系進学希望者 教科等 : 課外
講師 : がん専門医

◆ 成果 ◆

- ・医療系進学希望者に対して、進学への意欲の喚起を図ることを目的として実施したところ、がんの種類や原因、検査方法及び治療方法などについて理解を深めることができた。



がん教育外部講師リストの活用方法について

(令和3年3月更新)

令和3年3月更新（北海道教育委員会）

がん教育外部講師リストの活用方法について

- がん教育に係る外部講師を希望する学校は、外部講師リストから講師を選定し、直接団体・施設の連絡先に連絡をして、打合せを行ってください。（※札幌医科大学附属病院を除く。）

【主な打合せ内容例】

希望講師の職種	
希望日時 (第3希望まで)	① 月 日 () 時 分～ 時 分 (分) ② 月 日 () 時 分～ 時 分 (分) ③ 月 日 () 時 分～ 時 分 (分)
対象学年、人数	
テーマ、内容	
方法 (対面、オンライン等)	
謝金、交通費	
講師との打合せ方法や 今後の連絡先の確認等	

【詳細な打合せ内容例】

- 児童生徒の実態
 - ・学年や人数、様子のほか、配慮が必要な児童生徒（家族や親戚にがんにかかっている人がいるなど）の状況及び対応方法について伝える。
- 学校が意図する内容
 - ・内容を講師に全て任せるとはせず、学校が主体となって計画し決定する。
 - ・発達の段階や児童生徒の実態及び地域や家庭環境等を踏まえて、どの内容に重点を置くか学校で検討する。
 - (参考：文部科学省「がん教育推進のための教材」「がん教育プログラム補助教材」※web ページに掲載)
- 事前・事後の学習内容
- 来校時刻及び手段
- 会場・学習形態
 - ・会場の広さや学習形態、机や椅子の配置等について相談する。
- 資料・使用機材
 - ・パワーポイントを使用するか、資料を配付するか等を確認する。
 - ・プロジェクター、パソコン、マイク等の使用を確認し、準備する。
 - ・PCやUSBデータの持込について確認する。(ウイルス対策)
- 当日の流れ



がん教育推進のための教材（令和3年3月一部改訂）



学校においてがん教育を実施するに当たり、効果的な指導が行えるよう作成された教材

「がん教育推進のための教材」
http://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1369992.htm



外部講師を活用したがん教育ガイドライン（令和3年3月一部改訂）



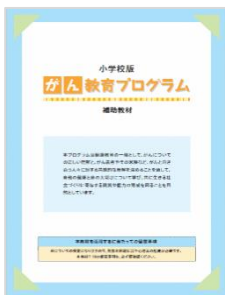
外部講師ががん教育を実施するに当たり、留意すべき事項等を示すものとして作成されたガイドライン

「外部講師を活用したがん教育ガイドライン」
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1369991.htm

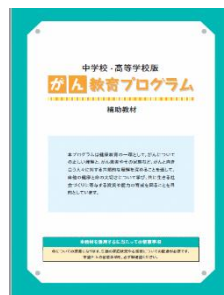


がん教育推進のための教材 補助教材について（令和3年3月一部改訂）

【小学校版 補助教材】



【中学校・高等学校版 補助教材】



【映像教材】



【スライド教材】

